



(公社)村山法人会
ニュース

令和4年1月31日

発行 公益社団法人 村山法人会
〒995-0035
村山市中央1丁目3番5号
TEL 0237-55-2555
FAX 0237-55-2444
E-mail:mura-hjk@amber.plala.or.jp
URL http://www.murayama-houjinkai.or.jp

きたむらやま

謹賀新年

Vol.62



ふるさと
ズームアップ



▲ヨットやカヌーなど湖面で楽しむ新たなアクティビティに注目！



▲10月16日に行なわれた「築堤から100周年記念感謝祭」。源流5流派の保存会が花笠踊りを奉納。

広報委員

委員長	高橋 和功	(株)ワコー
副委員長	加藤 稔	(有)加藤活版所
委員	高橋 利廣	(有)山東樓
委員	藤井 智範	フジクマ
委員	青木 大作	(農法)大石田漬物組合 (青年部会長)
委員	佐藤 智子	(有)佐藤錦 (女性部会長)

築堤から100年を迎え、さらに進化する徳良湖

尾花沢市中心部から3kmほど東にある「徳良湖(とくらこ)」は、灌漑用ため池として大正8年に築堤工事が始められ、大正10年5月27日に完成しました。機械などない当時、石に縄を括り付け、人力で「土搗き(どんづき)」をして堤防を固めていました。その作業中に唄われた「どんづき唄」が現在の「花笠音頭」のもととなり、工事作業の様子とかぶっていたすげ笠で仰ぐ様子が、「花笠踊り」の原型になったと言われています。

築堤から100年経った今、湖畔にはオートキャンプ場やグラウンドゴルフ場、スケボー・自転車用のパンプトラックなどが整備され、湖面にはヨットやカヌーの浮かぶ姿も見られるようになりました。市民の憩いの場として、また観光地として賑わう徳良湖。人々のライフスタイルに合わせた楽しみ方ができる場所として、今なお進化しています。(写真提供:尾花沢市)

新春のごあいさつ



公益社団法人村山法人会

会長 岡田 誠

新年あけましておめでとうございます。

旧年中は、会員並びに関係各位の皆様より深いご理解と温かいご支援を賜り、心より厚くお礼を申し上げます。

昨年に続き新型コロナウイルスに翻弄された中で迎える新年となりました。感染症により被害に遭われた方々に心からお見舞いを申し上げます。

まだまだ予断を許さない状況ではありますが、ワクチンの接種が進み明るい兆しも見え始めてきており、着実に良い方向へと進んできていると感じます。

新しい年は、経済活動並びに日常生活等が正常化に向かうよう期待しております。

昨年の事業は、感染防止に配慮し限られた範囲での活動となり、セミナーは人数を制限しての開催、租税教室においてもクラスごとに開催をしたりして実施致しました。

税制改正要望においては、志布隆夫村山市長と直接面談し、要望内容について会談を行っております。莫大なコロナ対策費の財源を賄った国債という名の借金をどう返済するのか、具体的方策を早急に示すよう求めており、

大胆な規制改革と税財政政策の必要性を強調した内容となっております。

「ワクチン手帳の配布」は、青年部会が進めている健康経営の事業として実施いたしました。山形県連からの助成を受けて、無料で希望する会員の方々に配布し、多くの申込をいただきました。

「税に関する絵はがきコンクール」は、女性部会を中心となり進めている事業で、今回で14回目をむかえます。小学6年生を対象としたコンクールで、応募いただいた全作品を村山税務署内に展示させていただき、一般の方々への公開も実施しております。

法人会の基本である「税」を軸足とした事業活動は、地域社会貢献事業として大変意義深いものであり、今後も引き継ぎ力を入れて参ります。

e-Tax(国税電子申告納税システム)並びにe-LTAX(地方税ポータルシステム)の利便性、マイナンバーカードでの確定申告、インボイス制度の概要等々についての更なる制度PRとともに、税務行政の取組みに寄与すべく努力してまいります。

より一層公益目的に沿った事業の充実に向けて、関係団体皆様のご協力をいただきながら、会員皆様と共に取り組んでまいりたいと思っておりますので、本年も一層のご指導ご支援を賜りますようお願い申し上げます。

最後に、皆様の限りないご発展とご健勝を祈念し、挨拶とさせていただきます。



青年部会

部会長 青木 大作

新年あけましておめでとうございます。

旧年中は青年部の活動に多大なるご協力とご理解を賜り、心より厚くお礼申し上げます。皆様にとりましても実り多き一年であります様に、心よりお祈り申し上げます。

昨年も長く続く新型コロナウイルス感染症の影響を受け多業種にわたり多くの深刻な影響・被害を受け会員皆様におかれましても心身ともに大変にお疲れになっているのではないかと案じております。この数か月、感染者数も低く抑えられ徐々に日常生活・経済活動も正常化に向かっているように思えましたが新たに変異型も見つかり心休まることがない状況が続きます。ワクチン接種だけでなく新たに経口治療薬など多くの開発が進み事態の収束に向かうのではと願っております。

未だにハッキリとした収束見通しがたたない中ではあります、昨年11月には「全国法人会青年の集い佐賀大会」も開催されました。感染対策により限定的な参加人数となりましたが全国より青年部員が集まり式典・講演などが行われ法人会のみならず徐々に他の活動・イベントも再開しております。

私たち青年部も毎年行っております小学校を訪問して

行う租税教室を学校側と共に感染対策を講じ例年通り開催させていただきました。小学校を訪問させて頂くと子供たちの真剣な目で話を聞いてくれる姿や質問をしてくれる姿はとても嬉しく思えます。そして、事前に先生より税について勉強してくれるクラスもあり年々知識が上がっている様に感じます。

そして、昨年11月には一昨年ぶりに職業体験イベント「キッズタウン大石田」に参加させていただきました。一昨年はコロナ感染の広まりによりイベント 자체が中止となりましたが感染者数の落着きにより開催されたイベントに新たなる税の普及活動として参加させて頂きました。取り組みとして模擬1億円や税務署職員による着ぐるみイータ君のパフォーマンスなどを活用させて頂き新たなる租税教室の取り組みも再開させていただきました。近隣市町村より多くの親子が集まり税について考えもらう事が出来ました。今年はより分かりやすく税を学べる内容にしていきたいと思います。

最後になりますが私たち青年部は各種セミナー・講演会・租税教室等を通じ若手経営者や次世代経営者が親睦を図りあらゆる情報を共有し企業経営・発展・地域の将来など年齢・業種を超えて多くの事を語り合える場であります。私も先輩方や部員皆様との会話から多くを学び知る事ができ、大変参考となっております。もっと多くの方と語り合えたらと考えております。法人会員の皆様には是非とも後継者の方・取引先の方の入会を勧めて頂けたらとお願い申し上げます。

本年も皆様の一層のご指導ご鞭撻を賜ります様お願い申し上げます。



村山税務署
署長 宮本 浩

年頭に当たりまして、謹んで新年の御挨拶を申し上げます。

公益社団法人村山法人会の会員の皆様には、お健やかに新春をお迎えのこととお慶び申し上げます。また、日頃から、税と経営の研修や租税教室をはじめとする税の啓発活動など、税務行政全般にわたりまして、深い御理解と多大な御協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

ところで、本年は「壬寅(みずのえ・とら)」の年だそうです。「壬寅」の言葉の謂(いわれ)を調べてみると、厳しい冬を越えて、芽吹き始め、新しい成長の礎となるとのことです。前回の壬寅である60年前の昭和37年(1962年)は、日本が戦後の復興から、2年後の第一回東京オリンピックに向けて、高度成長の時代へと変わった時です。

这一年間、この謂に倣い、組織の足元を固めて、税務行政の使命である「適正・公平な賦課徴収の実現」と、国民から信頼される税務行政の推進に取り組んでいかなければと思っています。しかし、昨今の厳しい財政状況と定員事情の下で、しかも高度情報化などの社会経済の変化に伴い、調査事務等が複雑・困難化しております。そして、このような環境の中では、協力団体による啓発活動や税務行政への協力が不可欠なものとなっております。

村山法人会の皆様には、協力団体の中心として、他の

団体との調整も含めて、引き続き、御支援と御協力をお願いいたします。

さて、令和5年10月からの「消費税の適格請求書等保存方式」、いわゆるインボイス制度につきましては、昨年10月から適格請求書発行事業者の登録申請の受付が開始されています。登録申請書の早期提出及びe-Taxによる電子申請につきましても、御協力を賜りますよう重ねてお願いいたします。

また、間もなく、確定申告の時期を迎えます。令和3年分確定申告は、昨年に引き続き、新型コロナウイルス感染症の感染防止策の徹底を基本とした上で、入場整理券方式で、3月15日までの通常の確定申告期限で実施することとしております。自宅等からのe-Tax推進による来署者の削減が最大の感染防止対策であり、特に、本年1月からは、スマホによる源泉徴収票の読み取り機能やQRコード認証など、スマホを利用したe-Taxの利便性も高まります。従業員の皆様にも、是非、簡単・便利なスマホで作成・送信していただけるよう広報・周知をよろしくお願ひいたします。

村山法人会は、長年にわたって培われ、受け継がれてきた輝かしい伝統と、強固な組織基盤を擁しております。今後も、法人会の魅力を発信しながら、一層活力に溢れる会活動を推進されることを大いに期待しております。署としても、関係団体にしっかり目を向けて、可能な限りの協力をさせていただきます。

最後になりますが、公益社団法人村山法人会のますますの御発展と、会員の皆様方の御健勝並びに事業の御繁栄を祈念申し上げ、新年の挨拶とさせていただきます。



女性部会
部会長 佐藤 智子

新年明けましておめでとうございます。村山法人会会員の皆様におかれましては、慈なく新春をお迎えのこととお慶び申し上げます。また、平素から女性部の活動をご理解とご協力を賜りましたこと、心より厚く御礼申し上げます。

昨年は、世界的に新型コロナウイルス感染症の拡大が収まらず、私達の生活や経済活動に多大な影響を及ぼしました。原油価格の高騰、人手不足や品不足による輸入品の減少や価格上昇、県外を跨ぐ移動制限で観光業・飲食業を含む幅広い分野での影響は、大きいものがありました。

7月には、無観客による東京2020オリンピック・パラリンピックが開催されました。多くのアスリートの活躍による史上最多のメダル獲得は、日本中が歓喜に沸き、感動をもらった明るい話題でした。

さて、女性部の活動といたしましては、コロナ禍による感染症対策を十分とりながら、税の大切さを小学生と学ぶ「租税教室」を開催しました。村山税務署、東北税理士会村山支部、三市一町の税務課、法人会青年部の方々が主体となりご協力をいただきました。

更に、「税に関する絵はがきコンクール」では、毎年多くの小学校からの応募をいただき、いつも素晴らしい作品ばかりで審査に困ってしまいます。これからも「税」は無くてはならない大切なものだと理解してもらえるような啓発活動を続けていきたいと思っています。

また、e-Taxの普及促進や2023年10月から開始予定

のインボイス制度への対応と理解も深めていかなければならぬと考えております。

社会貢献活動が思うように行われなかつた昨年12月初旬、家庭で使いきれない食品を福祉団体等に寄贈する「フードドライブ」に参加しました。東根市社会福祉協議会を通じ、北村山管内の生活困窮者を対象に提供させていただきました。急な呼びかけにも関わらず、多くの食料品・日用品を持ち寄って下さり誠に有難うございました。今後もこの活動を継続し、食品ロスの削減、生活困窮者への支援、女性・子供・高齢者の貧困・孤食等の問題を考え地域に貢献できる活動を行っていきたいと思っています。更にフラワーアレンジメントの講習会を実施し、作品を管内の福祉施設に寄贈しました。コロナ禍の中、少しでも心が和んで頂けたらとの思いを込めて作成いたしました。

また、近年の地球温暖化による気候変動が懸念され、目まぐるしく変わる社会情勢にも常に女性らしい豊かさと感性を持ちながら真摯に考え向き合っていきたいと思っております。

最後に、皆様の益々のご発展とご健勝を心より祈念申し上げ、新年の挨拶とさせていただきます。



「税に関する絵はがきコンクール選考会」(令和2年度)

おめでとうございます

長年のご功績に敬意を表し、
心からお祝い申し上げます。

令和3年度納税表彰 受彰

租税教育推進校等
仙台国税局長感謝状

村山税務署長表彰



公益社団法人 村山法人会
会長
岡田 誠 様



株友企画
代表取締役
星川 幸男 様

納税表彰は、青色申告会や法人会・間税会等の納税関係団体の活動を通じ、多年にわたり申告納税制度の普及発展と納税思想の高揚にご功績のあった方々に対して贈られます。



納 税 表 彰 伝 達

11月15日(月) 村山市商工会 2 F

「令和4年度税制改正に関する提言活動」の実施

公平で健全な税制の実現を目指して会員企業の意見や要望を反映しながら、税のあるべき姿や将来像を見据えて建設的な意見を提言しその実現を訴えております。法人会の提言活動は、法人税の引き下げなどをはじめ、同族会社の留保金課税制度の抜本的見直し、事業継承に関する税制の創設など、中小企業の活性化に資する税制の構築に寄与しています。



志布隆夫 村山市長：(中央)
11月30日(火)

岡田会長並びに星川副会長の両名にて、
提言書を手渡しました。

令和4年度税制改正スローガン

- ポストコロナの経済再生と財政健全化を目指し
税財政改革の実現を！
- 適正な負担と給付の重点化・効率化で、
持続可能な社会保障制度の確立を！
- コロナの影響はまだ残る。深刻な打撃を受ける
中小企業に、実行性のある対策を！
- 中小企業にとって事業承継は重要な課題。
本格的な事業承継税制の創設を！

詳しい提言内容につきましては、当会ホームページから
ご覧いただけます。

『法人会全国大会』への参加派遣

第35回青年の集い(佐賀大会)

- 11月25日(木)～26日(金)
会場：佐賀市文化会館



(右) 青年部会部会長 青木大作
(左) 青年部会副部会長 藤井智範

第15回女性フォーラム(新潟大会)

- 11月16日(火) 会場：朱鷺メッセ



(左) 女性部会副部会長 藤田富美代
他 山形県内女性部会の方々



税に関する
絵はがきコンクール
優秀作品展

事業活動フォト

税務セミナー

「インボイス制度の導入と 電子インボイス導入に向けた実務対応」

- 令和3年9月8日(水)
- 会場：村山市商工会2F
- 講師：税理士法人トリップル・ワイン顧問 星 叢氏



「年末調整説明会」

- 令和3年11月18日(木)
- 会場：村山市商工会2F
- 講師：村山税務署担当官



税の啓発活動

(青年部会)『キッズタウン大石田』への参画

○令和3年11月21日(日)大石田町虹のプラザにて開催されたイベントに参画。
子供たちから、簡単な「税金クイズ」に回答してもらい、140名が参加。
国税局から“ゆるキャラ”「イータ君」も参加してくださいり、会場を盛り上げてくれました。



(女性部会)

地域社会貢献事業

『食料品等の寄贈』 (フードドライブへの参画)

○令和3年12月3日(金)東根市社会福祉協議会へ寄贈。
コロナ禍の影響で失業や大幅な収入減などにより生活が困窮した方への寄付を目的とした、フードドライブ(食の回収)の取組に参画。東根市社会福祉協議会では北村山管内の生活困窮者を対象に提供を実施。女性部会員の方々に呼びかけをし、多くの食料品等が寄せられました。



(左) 東根市社会福祉協議会
常務理事・事務局長
森谷健氏

(右) 女性部会長 佐藤智子



(左から)
山形県労働組合総連合
事務局長 佐藤完治氏
東根市社会福祉協議会
常務理事・事務局長 森谷健氏
女性部会長 佐藤智子
女性部副部会長 藤田富美代
女性部会役員 高橋由紀子

『フラワー アレンジメント作成・寄贈』

○令和3年12月21日(火) ○会場：村山市商工会2F
○講師：シェリール(cherir) 八矢美紀氏

クリスマスをイメージしたフラワー アレンジメントで、すこしでも気分を明るいものにし、年末年始につなげて行こう！との思いを込めて作成し、管内の福祉施設に寄贈致しました。



寄贈先

村山市：いずみ
東根市：ソーレ東根
尾花沢市：新生園
大石田町：仁風荘

令和3年分

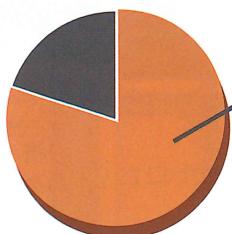
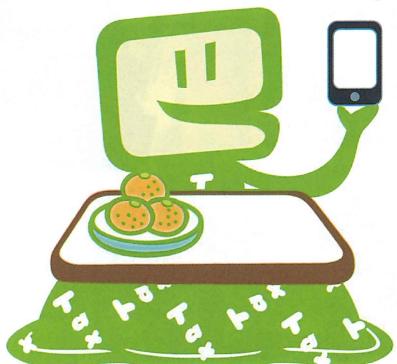
確定申告

～感染リスク軽減のための税務署からのお願い～

密を避けて

さあ、おうちで
スマホでe-Tax

PCでもできます



既に80%以上の方が
確定申告会場に行かずに
申告をしています。

密を作らない

確定申告会場への入場には
整理券が必要です

(※申告書等の提出のみの場合は不要です。)

各会場で当日配付

▶ LINEから事前発行

来場される場合はお早めにお越しください。

詳しくは国税庁ホームページをご覧ください。[確定申告検索](#)



税務職員ふたば
確定申告に関する疑問は
AIチャットボットの
ふたばにご相談ください

国税庁動画チャンネル NTA.ch

申告書の作成手順は
国税庁の動画サイトを
ご参照ください

申告
納税

所得税および復興特別所得税・贈与税

令和4年3月15日(火)まで

消費税および地方消費税(個人事業者)

令和4年3月31日(木)まで

税 税務署

リサイクル適性(A) この印刷物は、印刷用紙へリサイクルできます。

会員さんからこにちわ

株式会社 阿 星 組

■代表者 阿星泰明
 ■住所 〒999-3716 東根市大字蟹沢1306-5
 ■TEL 0237-43-4164
 ■FAX 0237-43-4194
 ■営業時間 AM8:00～PM5:00

●どんな仕事をする会社ですか？

弊社は、下水道、道路、河川などの公共工事をはじめ、公共施設や民間住宅などの建築工事を行っている建設業の会社です。

創業以来、「目配り・気配り・心配り」をモットーに、誠実かつ丁寧な仕事に努めてきました。近年は、異常気象による豪雨や大雪、コロナ禍など、建設業界を取り巻く様々な環境の変化がありますが、これからも従業員の安全、地域の安全を第一に日々努力して参ります。



●フリートーク

弊社では、新たに景観舗装を施工しております。「令和の路(みち)」は、従来の舗装に特殊な真砂土を薄く吹き付ける新しい土舗装で、舗装と景観のミスマッチの解消や、アスファルトの照り返しを抑え体感温度を下げる効果があります。「スレム～御影石風」は、アスファルトや汚れたコンクリートを手軽にリファインでき、御影石風になることで重厚感を醸し出し、和風でも洋風でも景観を壊さないすべり止めコート舗装です。お気軽にご相談ください。



施行前（東根市 東の杜資料館にて）



施行後（左上：令和の路(みち)、右下：スレム～御影石風）



株式会社 板垣板金工業

■代表者 板垣 剛
 ■住所 〒995-0035 村山市中央一丁目6番19号
 ■TEL 0237-53-4425
 ■FAX 0237-48-7028
 ■営業時間 AM7:30～PM5:10
 ■定休日 日曜日・祝日・隔土曜日



●どんな仕事をする会社ですか？

当社は平成17年に創業し、木造住宅用金属屋根及び外壁の板金施工事業を開始しました。

主に住宅一戸建ての新築・リフォーム工事の他、工場・店舗用の鉄骨造金属屋根・外壁・ステンレス工事などを行っております。



●フリートーク

小さな事から大きな事まで、屋根の事ならなんでもご相談ください。

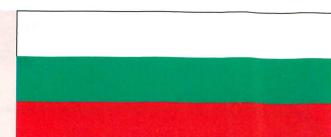
御自宅・店舗の環境にあった最適なご提案をさせていただきます。

「最高の仕上がり」をテーマに、これからも地域貢献を第一に考え頑張っていきたいと思っております。





金メダルの夢を支えて



▲東京五輪金メダル (提供: アンナ・ネドコヴァ)

「万歳。東京五輪ブルガリア新体操団体総合金メダル獲得。」2021年8月8日、私たちゴールデンガールズファンクラブの役員はZoomでつながりながら感動で一杯になり、号泣した。

思えば、2017年のローズキャンプ（東京五輪事前キャンプ）でブルガリア新体操の魅力に心惹かれ、東京五輪までおもてなしの心で応援したいと、キャンプボランティアの6人が発起人になりファンクラブを立ち上げた。2017年のキャンプは交流活動も盛んできしかった。それから5年・・・コロナで東京五輪が延期になり、オンラインでの交流になった。そして、2021年のキャンプでは、選手は毎日、私たちも4日に1回PCR検査をして臨む危機感のある合宿。「一人もコロナに感染しない、感染させない。」を合言葉にバブル方式で市民との接触をしない厳戒体制のキャンプだった。

無観客が決定。村山のキャンプの中でしか応援できないためブルガリア国旗をイメージしたポンポンを作り振付を練習した。ブルガリア国旗をボードで作り、マジックでブルガリア語の応援を手書きし、体育館の壁に貼った。声を出さない応援を考えた。役員の大場さんは生け花でブルガリアの金メダル獲得を表現した。石川副代表は四葉のクローバー（ブルガリアでは縁起のいいお守り）の押し花をトレーニング最終日に選手たちに渡した。彼女たちは「ありがとう。」と笑顔で受け取ってくれた。私は「東京にはいけないけど、皆で応援して、一緒に闘うからね。」と伝えた。

選手たちは8月1日に選手村に旅立った。その後、大型のブルガリア国旗には「WE CAN WIN」と書かれ、メダルの絵や「村山大好き」という言葉が描かれてあった。私たちの思いは伝わったのだと胸が熱くなった。

8月9日、千葉県市川市に滞在中の金メダルを胸にした選手たちとオンライン交流。私は「一番の思い出は？」と聞いた。すると「家族のように私たちを応援してくれた人たちがいたこ



▲事後交流会

(提供: 村山市)

と。」と言ってくれた。また、「村山の祖父母のために金メダルとりました。」と笑顔でメダルを見せてくれた。

この5年、市長はじめ市職員、スポンサー企業、沖縄をはじめ全国のファンクラブ会員、ローズキャンプ開催委員会、クアハウス暮点の方々、体育館職員、ボランティア、東京会場応援市民有志の会、村山市民、他にもご協力いただいたたくさんの皆さんに感謝したい。そして、この5年間、文化も言葉も違う私たちとブルガリアの選手団が繋がれたのは、なんといっても通訳さんの言葉の力だと思っている。心の奥や日本語のニュアンスまで伝えてくれた。

ファンクラブ解散の今、日本ブルガリア協会山形県村山支部の活動を通して、選手たちを育んだブルガリアの風土を肌で感じたいと願う。コロナ後、みんなでブルガリアに行くのが夢だ。

そして、今、東京五輪ブルガリア新体操団体総合金メダル獲得記念碑を、選手たちが4回練習にいそしんだ体育館前に建てたいと実行委員会を立ち上げた。ここが新体操の聖地として未来にも語り継がれ、むらやま新体操教室から未来のオリンピック選手が輩出されることを願っている。

日本ブルガリア協会山形県村山支部役員
元 ゴールデンガールズファンクラブ代表
小室けい子



▲東京五輪金メダル (提供: アンナ・ネドコヴァ)